

地元製菓とコラボ「おいしい認証品」を販売

今福小学校3年生児童24人がデザインして作成した「おいしいシール」の発表が11月13日、同校の学習発表会「かじのは祭」の中で行われました。

この取り組みは、地域に根差したお菓子屋さんにも協力してもらい、今福の食の魅力を発信したいという思いから、総合的な学習の一環として実現したものです。

この日は、同校体育館で地元の福井製菓・百枝製菓とコラボして、焼きリンゴ・丸ポーロに「おいしいシール」を貼って販売しました。



自分の気持ちを絵手紙に

鷹島郵便局（末吉史彦局長）は11月9日と10日の2日間、鷹島小学校の全児童を対象に絵手紙教室を開催しました。

同教室は3年前に始まり、鷹島公民館まつりや保育園などで実施されています。

この日は初めて学校で開催。低学年はクレパス、高学年は青墨や水彩絵の具を使い、野菜や花などを題材にして、家族への想いを絵手紙にしました。

作成された絵手紙は、鷹島公民館まつりに展示後、市役所に展示されています。



早めの点灯街頭キャンペーン

日没時間が早くなる秋以降の夕暮れ時の交通事故を防ごうと、松浦警察署や松浦地区交通安全協会などの会員ら約50人が11月10日、早めのライト点灯や前照灯のこまめな切り替えを呼びかけるキャンペーンを実施しました。

この日は、犬塚尚男署長が、志佐小学校6年生6人を早めの点灯を促す「松浦ジュニアDJポリス」に任命。児童たちはパトカーのマイクで行き交う車に早めの点灯を呼びかけ、参加会員らはパネルなどでドライバーに対しライト点灯を呼びかけました。



給食と動画で交流

松浦市と北海道鷹栖町は「ホークス交流事業」として、児童の相互派遣を実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、給食と動画で交流を行いました。

鷹島小、中学校では11月10日、給食に鷹栖町から届いた米粉のシフォンケーキが提供され、20日には松浦のアジフライが鷹栖町の小中学校で提供されました。また、児童たちは動画をとおして、「一緒に頑張ろう!」「前向きに過ごそう」などメッセージを送り合いました。



▶ (左) 鷹島小の児童がシフォンケーキを食べる
(右) アジフライを食べる鷹栖町の児童

豊漁と安全を祈願

松浦魚市場魚霊供養会（吉田光也世話人代表）は11月16日、松浦魚市場でお魚供養および恵比寿祭りを開きました。

この祭りは、大漁や航海安全を祈願するため毎年開催されています。

この日は、魚市場の関係者約60人が参列し、恵比寿像の前で神事を執り行ったあと、タイやアジ、サバなどを放流し、豊漁を祈りました。



戦没者追悼式 恒久平和を願う

令和2年度戦没者追悼式が11月13日、文化会館で執り行われました。

式には、遺族や関係者、松浦高校の生徒など約100人が参列。遺族代表などが祭壇に献花や献吟、献奏を捧げ、1,176柱の冥福を祈りました。

松浦市連合遺族会の八谷健司会長は「終戦から75年目を迎えました。大戦で学んだ教訓、平和の尊さ、戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぎ、世界平和の実現に尽力していきたいです」と追悼の詞を述べました。



税に関する作文入賞者表彰

「税について考える週間」（11月11日～17日）の一環として、松浦市租税教育推進協議会（友田吉泰会長）などが中学生と高校生を対象に募集した「税に関する作文」の入賞者表彰式が11月16日、生涯学習センターで行われました。

この作文の募集は、将来を担う中学生や高校生が税に関する関心を高め、税について正しい理解を深めてもらうことを目的としています。今回は平戸税務署管内から1,201点の応募があり、本市からは5点が入賞しました。入賞者は次の通りです（敬称略）。



【高校生】

《松浦市租税教育推進協議会会長賞》

中原志津佳（松浦高校1年）

《松浦市租税教育推進協議会優秀賞》

今里あかり（松浦高校1年）

井元 紗羽（松浦高校1年）

【中学生】

《松浦市租税教育推進協議会会長賞》

藤田 葵^{まとは}（御厨中3年）

《平戸税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞》

小野 純^{じゅんせい}（志佐中3年）